

田園都市で暮らす、働く、楽しむ

vol.39
2025.4
発行

「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです

INDEX

- 2025年度の活動方針のご紹介
- 2024年度活動報告

自由で豊かな ライフスタイル の実現

次世代郊外まちづくりは、横浜市と東急が2012年に締結（2017年、2022年に更新）した協定に基づき、郊外住宅地の課題を産学公民の連携・協働で解決していく、住民参加型・課題解決型のまちづくりです。

2025年度は、持続可能なまちづくりのための担い手・仕組みづくりをはじめ、子育て世代が活躍するまちづくり及び脱炭素社会の推進に取り組みます。

2025年度の活動方針

こんな取組を行っていきます！



1 持続可能なまちづくりのための担い手・仕組みづくり

郊外住宅地における地域の課題解決や公共空間の活用等を通して、まちの担い手創出に向けた取組の推進や仕組みづくりを目指します。

2 子育て世代が活躍するまちづくり及び脱炭素社会の推進

地域住民・企業・団体・学校と連携し、子育て世代が活躍するまちづくりや脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していきます。



2024年度活動報告

詳細は
WEBから

次の活動方針に基づき、地域の皆さまと一緒に様々な活動や取組を行いました。詳細はホームページをご覧ください。



1 「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」の実現

公共空間活用を通じたまちの担い手創出に向けた取組の推進や仕組みづくり

「まちづくりの活動を考える」プロジェクトとして、地域の方と公共空間の活用アイデアを考えるワークショップや、課題などのヒアリングを行いました。そこで得た意見をもとに、公共空間活用と地域課題の解決を目指す実証実験「パークフェスタ in クリスマス」を実施し、ステージの検証や運営の仕組み化に向けた情報整理やノウハウの蓄積などに取り組みました。



2 脱炭素社会の推進に向けた、産学公民連携による取組

郊外住宅地における脱炭素のまちづくり「カーボンポジティブまちづくり」

東京大学まちづくり研究室の小泉秀樹教授のご協力のもと、脱炭素に関する国内外の先進事例や認証制度などの知識のインプットの場として、学識者による関係者向けの勉強会を実施しました。また、青葉区役所主催「あおばGREEN DAY」に出展し脱炭素の啓発活動などを行いました。



3 子育て世代にとって魅力あるまちづくりの実現

「まちぐるみの子育て」の実現を目指した活動

地域メンバーが主体となる活動「まちぐるみの子育て」による「子育てタウンミーティング」が開催されました。今年度は「放課後等デイサービス」「児童発達支援事業所」「ヤングケアラー」などをテーマに話し合いが行われ、地域で子ども・子育てに関わるさまざまな組織、団体、学校などのメンバーが参加しました。

また、「第7回ファミリーリソースプロジェクト」がWISE Living Labで開催され、地域で子育て中の方や子どもが多数参加し、「まちぐるみの子育て」が目指す「顔の見える関係性づくり」や「地域との連携」を体感する機会となりました。



地域の中学校との連携

まちづくりの活動を次世代につなげる取組のひとつとして、美しが丘中学校と連携し、3年生の総合授業においてまちづくりに関するアドバイスをを行いました。その後、3年生により「地域福祉の活性化につながる街づくりにチャレンジしよう」企画が校内で実践されました。

